

し、最適なエネルギー利用の提案等に繋げられる。また、ニチガス・ストリーム\*\*で収集した各種データが参照できるようにする。更に今後開始予定の電気小売や顧客向けアプリ“マイニチガス”で活用することで、異業種との連携とオープン化を加速させながら、ビッグデータを活用したビジネス構築の実証も行っていく。

\*特定のコンピュータプログラムの機能や管理するデータ等を外部の他のプログラムから呼び出し利用するための手順・データ形式等を定めた規約

\*\*日ガスが開発した様々なIoTデバイス(ポンペ、メータ等)から集めたデータを効率的にワイヤレスで収集する仕組み

### 温水床暖房 FHS ネットセミナー 滋賀開催ではクサネン協力で事業化まで解説



内海主宰



花田常務

温水床暖房FHSネットワークはリフォーム事業を積極的に展開する㈱クサネンの協力を得て11日、滋賀県草津市の2会場で「ユカカラ暖房事業説明会 in 滋賀」を開催した。熊本地震以降頻発する震災の影響もあり、増加するニーズに対応し、ガス事業者が床暖房リフォームを事業化するためのセミナー。滋賀開催では関西・中部圏を中心に募集をかけ、四国、東海の事業者を含め40人以上

が出席した。冒頭挨拶で内海久俊主宰は、床暖房ニーズや施工事例が急増している実態やその背景、FHSネットが事業化に必要な商品知識・施工技術・販売ノウハウ・アフターフォローなどをサポートす

る組織であること等を説明、その詳細を解説した。また、クサネンショールームに場所を移し、温水床暖房を導入・改修した1Fフロアを見学し、花田正クサネン常務から同社のショールームの活用方法等の説明を聞いた。

〔ユカカラ暖房・説明会/内海主宰〕▷高齢化・人口減→空家リフォーム・リノベーション時代=システムバス(システムキッチン減少)・温水床暖房増加、高齢者の灯油ボイラ・ストーブ離れと同者専用住宅施設増▷震災時の火災対策▷冬場の足元寒さ問題→温水床暖房が“主暖房”になる理由(製品紹介等略)▷ストーブ火災の状況▷ヒートショックは寒冷地よりも西日本で多発の現状▷温水床暖房の対象施設と施工価格の目安▷FHSパートナープログラム/FHSの役割〔クサネンショールーム「ケーススタイル」見学会説明/花田常務〕▷建物概要：1階住設展示スペースに18年3月リニューアル「ユカカラ暖房」を導入、2階料理教室▷展示概要：「ケーススタイル」のモノリフォームに対し、もう一つのショールーム「LIXIL リフォームショップ」はコトリフォームがコンセプトに



ガス漏れは  
見えぬからこそ  
警報器

しっかり  
見守ります!

交換期限の年  
20XX年

ガス警報器工業会キャラクター  
ほあんほあん(保安保安)

■ガス警報器 ■CO警報器 ■住宅用火災・CO警報器  
■住宅用火災・ガス・CO警報器 ■業務用換気警報器

**警報器の交換期限は5年です。**

ガス警報器工業会 <http://www.gkk.gr.jp> **ガス警報器工業会** 検索

**日本ガスメーター工業会**

会長 宮澤 光晴

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-13  
虎ノ門上野ビル4F

☎03-3504-8021 FAX.03-3504-8022  
<http://www.jgia.gr.jp>